

Cisco AS5200 アクセスサーバにダイヤルインするためのCisco 753 および Cisco 1004 設定

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[Cisco 753 を Cisco AS5200 にダイヤルインするために設定する方法](#)

[Cisco 753 からの Cisco AS5200 にダイヤルインするべきイネーブル リモートIP ユーザ](#)

[完全な Cisco 753-A スタートアップ コンフィギュレーション](#)

[Cisco 753 からの Cisco AS5200 にダイヤルインするべきイネーブル リモートIPX ユーザ](#)

[Cisco 753-A のIPX コンプリヘンシブコンフィギュレーション](#)

[Cisco 1004 を Cisco AS5200 にダイヤルインするために設定する方法](#)

[グローバルコンフィギュレーションを設定して下さい](#)

[BRI およびイーサネットインターフェイスを設定して下さい](#)

[ルーティングプロトコル、スタティックルート、ダイヤラリスト、さまざまな行およびアクセスリストを設定して下さい](#)

[Cisco 1004 のための総括的設定](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、次の項で Cisco AS5200 アクセスサーバにダイヤルインするための Cisco 753 および Cisco 1004 の設定方法について説明します。

- [Cisco 753 を Cisco AS5200 にダイヤルインするために設定する方法](#)
- [Cisco 1004 を Cisco AS5200 にダイヤルインするために設定する方法](#)

コンプリヘンシブコンフィギュレーション例は各セクションの終わりに利用できます。

前提条件

要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントは、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではあ

りません。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

Cisco 753 を Cisco AS5200 にダイヤルインするために設定する方法

この章では、Cisco 753 デフォルト設定と共に、リモートクライアントから Cisco AS5200 への ISDN およびアナログ接続用を紹介しています。

Cisco 753 ネットワークで各ルータのこの設定例を入力して下さい（適切な場合にはあなた自身のアドレス、ホスト名およびパスワードを入力して下さい）。

システムセットアップ時間を促進し、各プロトコルの固有コンフィギュレーションの差のわかりやすい説明を提供するためにこれはこれらの提供を IP および IPX コンフィギュレーションように個別ネットワーク戦略文書化します。このセクションはこれらのネットワークシナリオが含まれています：

- リモート IP ユーザが Cisco 753 からの Cisco AS5200 にダイヤルインすることを可能にする方法。
- リモート Internetwork Packet Exchange (IPX) ユーザが Cisco 753 からの Cisco AS5200 にダイヤルインすることを可能にする方法。

この設定は PPP を実行すると仮定します。いずれかの時点で、システム構成を再入力するか、または再起動する必要があったら `set defaults` コマンドをプロンプトで、この設定と入力し、ルータ名および正しい IP アドレスを代わりにすることを忘れないようにして下さい。

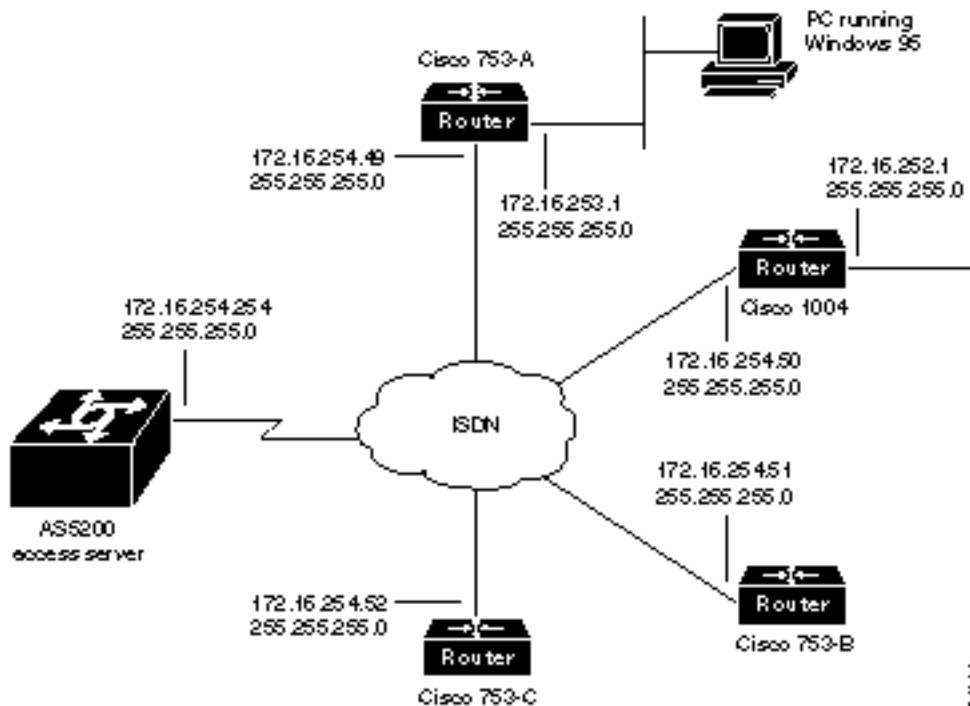
注意： 繋がなかったらルーティンググループを回避するために、内部プロファイルで設定を行わないで下さい。

Cisco 753 からの Cisco AS5200 にダイヤルインすることをリモート IP ユーザが可能にして下さい

最も簡単で、最も有効なリモート IP ダイアルインシナリオに関しては、同じネットワーク（サブネット）およびネットワークマスクに、しかし異なるホストアドレスとあるために各 Cisco 753 ルータを設定して下さい（[図を 1](#)）参照して下さい。

[図 1](#) Cisco 753 設定全体の IP アドレスをデバイス間の関係の記述を助けるように参照します。

図 1 – Cisco AS5200 にダイヤルインしているルータのためのアドレス方式



ISDN ネットワーク クラウド内の Cisco AS5200 には、各ダイヤルイン デバイス用に作成された 1 つのダイヤラ マップがあります。この例のネットワーク トポロジーでは、Cisco AS5200 で構成された 4 つのダイヤラ マップが必要です。Cisco AS5200 上の最初のダイヤラ マップ エントリは `dialer map ip 172.16.254.49 name 753-A` です。第 2 ダイヤラマップエントリは **ダイヤラマップ IP 172.16.254.51 名前 753-B** を、等読みます。各 Cisco 753 は AS5200 であるが、異なる IP アドレスは各プロファイルのためにあります同じ Profile Name を共有します。Cisco 1004 はプロファイル システム構造をサポートしていません。

IP ネットワークの Cisco 753 ルータを設定して下さい。これらのセクションで説明されているステップを完了して下さい:

- [システム レベル](#)
- [ユーザ プロファイル](#)
- [LAN プロファイル](#)

[システム レベル](#)

システム レベルで Cisco 753 を設定するためにこれらのステップを完了して下さい:

1. ルータのホスト名を入力して下さい。Challenge Authentication Protocol (CHAP) はまたルータと Cisco AS5200 間の認証のためにこのホスト名を使用します。 >

```
> set system 753-A
```

753-A> **注:** 設定の Cisco AS52001 側面で、**dialer map ip および username password コマンドは 753-A である Cisco この 7531 ホスト名を使用します。**
2. 送受信の認証のためにルータで PPP と CHAP を設定します。753-A> `set encapsulation ppp`
753-A> `set ppp authentication incoming chap`
753-A> `set ppp authentication outgoing chap`
3. ご自分の電話会社が使用している ISDN スイッチ タイプを指定します。米国のオプションは NI1、5ESS および DMS 100 です。他の国はより多くのいろいろなオプションを使用します。753-A> `set switch 5ess`
4. 送信するを規定し、これらの例の Cisco 753-A であるクライアントのためのパスワードを受け取って下さい。パスワードを (たとえば、`letmein`) 二度入力して下さい。753-A> `set`

```
ppp secret client
```

```
753-A> Enter new Password: letmein
```

753-A> Re-Type new Password: letmein **注:** 認証の成功のためのこの3つの場所で同じパスワード **letmein** を入力して下さい:Cisco 753-A の **set ppp secret client** コマンドCisco 753-A の **set ppp secret host** コマンドCisco AS5200 アクセス サーバの **username password global configuration** コマンド**注:** このパスワードは大文字と小文字が区別されます。**注:** [ユーザプロフィール](#) セクションに進んで下さい。

[ユーザプロフィール](#)

ユーザ プロファイルを設定するためにこれらのステップを完了して下さい:

1. Cisco 753-A ルータによって認証するデバイスのプロフィール ユーザ名を、たとえば Cisco AS5200 入力して下さい。このエントリは Cisco AS5200 のホスト名を一致する必要があります。753-A>
753-A> set user AS5200
753-A> New user AS5200 being created
2. Cisco AS5200 プロファイルでは、ホストである Cisco AS5200 用の送受信パスワードを指定します。検証のためにパスワード(例えば letmein)は2度入力しなければなりません。
753-A:AS5200> set ppp secret host
753-A:AS5200> Enter new Password: letmein
753-A:AS5200> Re-Type new Password: letmein
3. ネットワークのさまざまな種類にパケットをルーティングしたいと思わないのでブリッジを消して下さい。753-A:AS5200> set bridging off
4. IP ルーティングをオンにします。753-A:AS5200> set ip routing on
5. Cisco 753-A用の IP アドレスを設定します。これは、Cisco AS5200 モデム接続のために確保されたアドレスプールよりも1アドレス高いものです。753-A:AS5200> set ip address 172.16.254.49 Cisco AS5200 で設定される **ip local pool default** コマンドは 172.16.254.48 への IP アドレス 172.16.254.1 の範囲を使用します。
6. Cisco753-A 用に IP ネットマスク アドレスを設定します。これは、Cisco AS5200 アクセスサーバで設定されたネットマスク アドレスに合っていなければなりません。753-A:AS5200> set ip netmask 255.255.255.0
7. ISDN回線の稼働時間コストを避けるためにルーティング プロトコルを作動させないのでゲートウェイである Cisco 753-A ルータから Cisco AS5200 アクセス サーバにルーティングするために IP トラフィックを設定して下さい。753-A:AS5200> set ip route destination 0.0.0.0/0 gateway 172.16.254.254 **注:** 設定の Cisco AS5200 側面で、**ip route** コマンドはこのトラフィックルートを設定します。
8. PPP カプセル化のための IP フレームを設定します。753-A:AS5200> set ip framing none
9. 2つの Bチャンネルをアップさせるために同じ番号を2度設定します。753-A:AS5200> set 1 number 2968388
753-A:AS5200> set 2 number 2968388 [LAN プロファイル](#) セクションに進んで下さい。

[LAN プロファイル](#)

LAN プロファイルを設定するためにこれらのステップを完了して下さい。このプロセスはイーサネットインターフェイスの設定に類似したです:

1. Cisco 753-A に接続される拡張イーサネット セグメントに自身のサブネット IP アドレスを割り当てて下さい。753-A:AS5200> cd lan

```
753-A:LAN> set ip address 172.16.253.1
```

2. イーサネット セグメントに IP ネットマスクを割り当てます。753-A:LAN> set ip netmask 255.255.255.0
3. ブリッジをオフにします。753-A:LAN> set bridging off
4. IP ルーティングをオンにします。753-A:LAN> set ip routing on Cisco 753 IP コンフィギュレーションは完了です。

完全な Cisco 753-A スタートアップ コンフィギュレーション

Cisco 753-A システムデフォルトの存在 セットへのこの設定の付加は Cisco 753-A が Cisco AS5200 にダイヤルできるように完全なスタートアップ コンフィギュレーションを作成します。

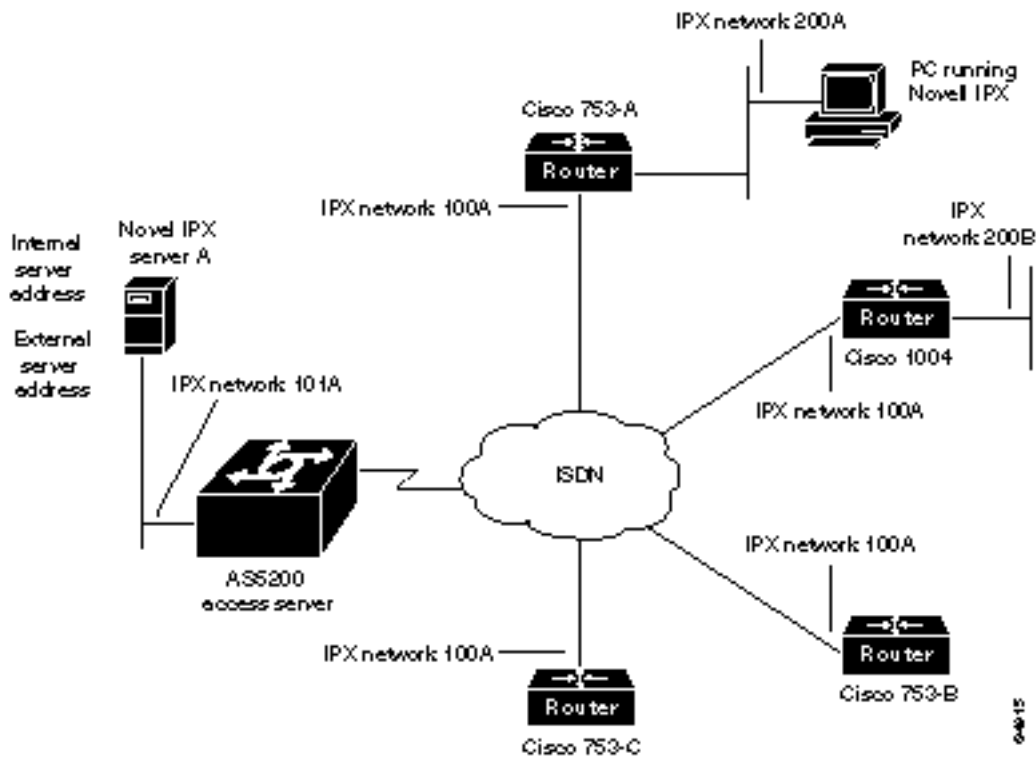
```
set system name 753-A
set switch 5ess
set encapsulation ppp
set ppp authentication incoming chap
set ppp authentication outgoing chap
set ppp secret client
set user AS5200
set ppp secret host
set ip routing on
set ip framing none
set ip address 172.16.254.49
set ip netmask 255.255.255.0
set ip route destination 0.0.0.0/0 gateway 172.16.254.254 propagate off cost 1
set 1 number 2968388
set 2 number 2968388
cd lan
set bridging off
set ip routing on
set ip address 172.16.253.1
set ip netmask 255.255.255.0
```

Cisco 753 からの Cisco AS5200 にダイヤルインするべきイネーブル リモート IPX ユーザ

別のネットワークでありやすく、最も有効なリモート IPX ダイアルインシナリオに関しては、各 Cisco 753 ルータおよび各リモート IPX クライアントを同じネットワークであるために設定して下さい ([図を 2](#)) 参照して下さい。この例に Cisco 753-A ルータを設定する方法を示されています。Cisco 753 ネットワークで各ルータのこの設定を入力して下さい (適切な場合にはあなた自身のアドレス、ホスト名およびパスワードを入力して下さい)。

[図 2](#) Cisco 753 設定全体の IPX 数をデバイス間の関係の記述を助けるように参照します。

図 2 - IPX ネットワークのためのアドレス方式



IPXネットワークの Cisco 753-A ルータを設定するためにここにリストされているステップを完了して下さい:

- [システムレベル](#)
- [ユーザプロファイル](#)
- [静的 IPX マッピングの有効化](#)
- [LAN プロファイル](#)

[システムレベル](#)

これらの system コマンドを入力して下さい:

注: Cisco 753 IPコンフィギュレーション例の前の[システムレベル](#) セクションはこのプロセスを説明します。

```
> set system 753-A
753-A>
753-A> set switch 5ess
753-A> set encapsulation ppp
753-A> set ppp authentication incoming chap
753-A> set ppp authentication outgoing chap
753-A> set ppp secret client
753-A> Enter new Password: letmein
753-A> Re-Type new Password: letmein
```

[ユーザプロファイル](#) セクションに進んで下さい。

[ユーザプロファイル](#)

ユーザプロファイルを設定するためにこれらのステップを完了して下さい:

1. これらのコマンドを、Cisco 753 IPコンフィギュレーション例の[以前のユーザプロファイルセクション](#)が説明するプロセス入力して下さい。 753-A> set user AS5200

```
753-A> New user AS5200 being created
753-A:AS5200> set ppp secret host
753-A:AS5200> Enter new Password: letmein
753-A:AS5200> Re-Type new Password: letmein
753-A:AS5200> set ipx routing on
753-A:AS5200> set bridging off
```

2. IPXネットワーク番号を入力して下さい。753-A:AS5200> set ipx network 100A
3. Cisco 753-A の ISDNリンク上の PPP カプセル化を行うために**どれも**に IPX フレーミングを設定しないで下さい。753-A:AS5200> set ipx framing none
4. IPX スプーフィングをオフにします。753-A:AS5200> set ipx spoofing off
5. 定期的なルーティング情報プロトコル (RIP) 更新をつけて下さい。753-A:AS5200> set ipx rip update off [Enable Static IPX Mapping](#) セクションに進んで下さい。

[静的 IPX マッピングの有効化](#)

ISDN回線がハングアップします定期的なRIP 更新を避けることができます。内部および外部 IPX ファイルサーバアドレスで静的マッピングを設定して下さい。IPX ネットワークの各デバイスはこれらのファイルサーバ番号を使用します。

外部ファイルサーバアドレスは例の IPXネットワーク 100A と [図 2](#) 同等です。

小説 IPX ファイルサーバは内部 処理のために内部アドレスを使用します。Novell ファイル server1 のコンソールの config コマンドで内部および外部パスワードを取得できます。内部ネットワークアドレスの例は 111abc.0000.0000.0001 です。最初の数字の組合せ、111abc、サーバからのサーバへの変更。各サーバに別の内部アドレスがあります。最後の 3 つの数字の組合せは、0000.0000.0001、Cisco 753-A システムによって 01 として決して変更しないし、短縮されます。Cisco 753-A で設定される lpx internal file server コマンドで 01 と最初の数字の組合せだけ入力して下さい。

接続サービスのための IPX ファイルサーバアドレスを設定するためにこれらのステップを完了して下さい:

注: Cisco 753-A ルータの Cisco AS5200 ユーザ プロファイルにこれらのコマンドを入力します。

1. 内部 ファイル server1 IPX番号を設定して下さい:753-A:AS5200> set ipx service name SERVERA type 4 address 111abc:01:0451 hops 3
2. 内部 IPX ファイルサーバへのパスを指定します。753-A:AS5200> set ipx route destination 111abc gateway 100A:603ef16f74 hops 3 この表は **set ipx route** コマンドが確立するデバイスをおよび接続を記述したものです:
3. 外部ファイルサーバアドレス 101A ネットワークにアクセスするために各リモート パソコンが送信する必要があるパスを規定して下さい。753-A:AS5200> set ipx route destination 101A gateway 100A:603ef16f74 hops 2 [LAN プロファイル](#) セクションに進んで下さい。

[LAN プロファイル](#)

IPXネットワークのための LAN プロファイルを設定するためにこれらのステップを完了して下さい:

1. Cisco 753 IPコンフィギュレーション例でこれらのコマンドを、前の [LAN プロファイル](#) セクションに説明があるプロセス入力して下さい。753-A:AS5200> set user lan


```
753-A:LAN> set bridging off
753-A:LAN> set ipx routing on
```

2. RIP アップデートを定期的に IPX LAN に送ります。753-A:LAN> set ipx rip update periodic
3. イーサネット インタフェース IPX ネットワーク 200A をオンにします。753-A:LAN> set ipx network 200A
4. IPX スプーフィングをオフにします。753-A:AS5200> set ipx spoofing off Cisco 753 IPX コンフィギュレーションが完了しました。

Cisco 753-A のIPX コンプリヘンシブコンフィギュレーション

Cisco 753-A システムデフォルトの存在 セットへのこの設定の付加はルータのための完全なスタートアップ コンフィギュレーションを作成します:

```
set system 753-A
set switch 5ess
set encapsulation ppp
set ppp authentication incoming chap
set ppp authentication outgoing chap
set ppp secret client
set user AS5200
set ppp secret host
set ipx routing on
set bridging off
set ipx network 100A
set ipx framing none
set ipx spoofing off
set ipx rip update periodic
set ipx service name SERVERA type 4 address 111abc:01:0451 hops 3
set ipx route destination 111abc gateway 100A:603ef16f74 hops 3
set ipx route destination 101A gateway 100A:603ef16f74 hops 2
cd lan
set bridging off
set ipx routing on
set ipx rip update periodic
set ipx network 200A
set ipx spoofing off
```

Cisco 1004 を Cisco AS5200 にダイヤルインするために設定する方法

このセクションは Cisco 1004 ルータから Cisco AS5200 にダイヤルすることをリモートIP ユーザが可能にする方法を記述します。次の手順を実行します。

- [グローバルコンフィギュレーションを設定して下さい](#)
- [BRI およびイーサネットインターフェイスを設定して下さい](#)
- [ルーティングプロトコル、スタティックルート、ダイヤラリスト、さまざまな行およびアクセスリストを設定して下さい](#)

この設定を入力する間、Cisco 1004 および Cisco AS5200 論理的な位置に概念的な把握を得るために IP アドレスを [図 1](#) 参照して下さい。

グローバルコンフィギュレーションを設定して下さい

Cisco 1004、たとえば、ホスト名、ユーザ名、パスワードおよび ISDNスイッチタイプに必要な基本的なグローバルコンフィギュレーションを設定するためにこれらのステップを完了して下さい:

1. Cisco 1004 にホスト名、パスワードおよびユーザ名を割り当てて下さい。


```
1004# configure terminal
1004(config)# hostname 1004
1004(config)# enable password test
1004(config)# username 1004 password cisco
```

 ユーザ名 1004 はホスト名です-リモートルータおよび Cisco AS5200 で設定される dialer map コマンドの...このユーザ名を使用します。ユーザ名は大文字/小文字の区別があり、リモート router1 ホスト名を一致する必要があります。CHAP認証プロセス使用が、また大文字/小文字の区別があり、リモート router1 のパスワードを一致する必要があるパスワード。注: 混合を避けるために、この設定 例はパスワードの非暗号化フォームを、cisco 表示する。実際のコンフィギュレーションでは、パスワードは暗号化された形である 7 13061E010803 として表示されます。7 は暗号タイプを示し、13061E010803 は Cisco の暗号化された形式です。username コマンドへの変更を入力するか、または行なうとき、パスワードを非暗号化フォームで常に入力し、暗号化タイプ (7) を入力しないで下さい。暗号化タイプは自動的に設定されます。
2. キャリアの機器を一致する必要がある ISDNスイッチタイプを設定して下さい。スイッチタイプを変更した場合は、新しいスイッチを有効にする前にルータをリロードしてください。


```
1004(config)# isdn switch-type basic-dms100
```

 BRI およびイーサネットインターフェイスは設定に区分します進みます。

BRI およびイーサネットインターフェイスを設定して下さい

BRI インターフェイスおよびイーサネットインターフェイスを Cisco AS5200 とのトラフィックを送受信するために設定するためにこれらのステップを完了して下さい:

1. 始動は BRI インターフェイス IP アドレスを割り当て。


```
1004(config)# interface BRI 0
1004(config-if)# ip address 172.16.254.50 255.255.255.0
```
2. CHAP認証のためのハイレベル データ リンク コントロール (HDLC) 上のイネーブル PPP カプセル化。


```
1004(config-if)# encapsulation ppp
```
3. 56kbps 帯域幅を設定します。


```
1004(config-if)# bandwidth 56
```

 BRI インタフェースのデフォルト帯域幅設定は 64kbps です。56 キロビット/秒の速度でダイヤラマップ ステートメントを設定した場合、帯域幅ステートメントを含んで下さい。このコマンドは ISDN回線の速度を制御しませんが、正しい基準 点をのための設定 します:BRI ポートの show interface 統計情報dialer load-threshold コマンドルーティング メトリック
4. BRIインタフェースからリモート ルータにトラフィックが送られていない間に ISDN 接続を継続させる秒数を指定します。


```
1004(config-if)# dialer idle-timeout 300
```
5. 呼出されるべき各 ISDN 電話番号のためのダイヤラマップ ステートメントを設定して下さい。これらの文は、CHAP 認証で使用され、トラフィックが BRI インタフェースに送られると、最初にリモート ルータにコールします。


```
1004(config-if)# dialer map ip 172.16.254.254
name AS5200 speed 56 broadcast 14155551234
```

 この表はこのコマンドが設定するダイヤラマップ ステートメント オプションを記述したものです:
6. ISDN 接続が確立されるまで、対象パケットをキューします。この例では、5 つの対象パケットはキューにあります。


```
1004(config-if)# dialer hold-queue 5
```
7. 設定 オンデマンド帯域幅。ダイヤラの前に最大負荷を送信します第 2 Bチャンネルによって追加コールを設定して下さい。


```
1004(config-if)# dialer load-threshold 100
```

 この負荷はインターフェイスごとに計算される加重平均負荷値であり、1 は負荷がないことを示し、255 は完全に負荷がかかっていることを示します。設定する実際のロード値はご自分の個別のネットワークの特性によります。この例では、第 2 Bチャンネルはロードが 255 で割ることによって求められる 100 である最大利用の 39%達するときアクティブになります。
8. BRI インタフェース上のダイヤラ リストを有効にします。これはどのパケットが ISDN 接続

をアクティブにするのかを決定します。1004(config-if)# dialer-group 1

9. ご自分の電話会社が ISDN ラインに spids を割り当てている場合は isdn spid コマンドを設定します。1004(config-if)# isdn spid1 408555432101 5554321
1004(config-if)# isdn spid2 408555987601 5559876
10. CHAP 認証を有効にします。1004(config-if)# ppp authentication chap
1004(config-if)# exit
11. 始動はイーサネットインターフェイス IP アドレスを割り当て。1004(config)# interface Ethernet 0
1004(config-if)# ip address 172.16.252.1 255.255.255.0 設定にルーティング プロトコルを、スタティック ルート、ダイヤラリスト、さまざまな行進めば、アクセス リストは区分しません。

ルーティング プロトコル、スタティック ルート、ダイヤラリスト、さまざまな行およびアクセス リストを設定して下さい

ルーティング プロトコル、スタティック ルート、ダイヤラリスト、さまざまな行およびアクセス リストを設定するためにこれらのステップを完了して下さい:

1. ルーティング プロトコルを割り当てて、IP アドレスを指定します。1004(config)# router igrp 1
1004(config-if)# network 172.16.0.0
1004(config-if)# exit
2. Cisco AS52001 BRI インターフェイスを通して Cisco AS52001 ネットワークにスタティック ルートを作成して下さい。スタティック ルートは ISDN リンクがダウン状態になるときダイナミック ルートが失われて得るので必要です。1004(config)# ip route 172.16.255.0 255.255.255.0
172.16.254.254 Cisco AS52001 ターゲット IP イーサネットアドレスは 172.16.255.0 です。ターゲット ネットワーク マスクは 255.255.255.0 です。ターゲット ネットワークに到達するのに用いられるネクストホップのアドレスは 172.16.254.254 です。
3. どの IP パケットが興味深いか判別して下さい。アクセス リスト 100 にダイヤラリストをそのポイント作成して下さい。1004(config)# dialer-list 1 list 100
4. どの IP パケットが ISDN リンクをアクティブにするか識別して下さい。特定のネットワーク設計によって決まる作成する access-list。1004(config)# access-list 100 deny ip 0.0.0.0 255.255.255.255 255.255.255.255 0.0.0.0

1004(config)# access-list 100 permit ip 0.0.0.0 255.255.255.255 0.0.0.0 255.255.255.255 最初のアクセス リスト コマンドは、すべてのブロードキャスト パケットが対象となっていないと定義しています。2 番目のアクセス リスト コマンドは、他のすべての IP パケットが対象となっていると定義しています。
5. Cisco 1004 設定を完了するためにこれらの line configuration コマンドを入力して下さい
:1004(config)# line con 0
1004(config-line)# line aux 0
1004(config-line)# line vty 0 4
1004(config-line)# password test
1004(config-line)# login
6. NVRAM に新しいコンフィギュレーションを書き込みます。1004# copy running-config startup-config
#####[OK]
1004# Cisco 1004 IP コンフィギュレーションは完了です。

Cisco 1004 のための総括的設定

このセクションには、Cisco 1004 用の完全なスタートアップ コンフィギュレーションが含まれています。

```
version 10.2
!
hostname 1004
!
enable password test
!
username C4000 password cisco
isdn switch-type basic-dms100
!
interface Ethernet0
ip address 172.16.10.1 255.255.255.0
!
interface Serial0
no ip address
shutdown
!
interface Serial1
no ip address
shutdown
!
interface BRI0
ip address 172.16.20.1 255.255.255.0
encapsulation ppp
bandwidth 56
dialer idle-timeout 300
dialer map ip 172.16.20.2 name C4000 speed 56 broadcast 14155551234
dialer map ip 172.16.20.2 name C4000 speed 56 broadcast 14155556789
dialer hold-queue 5
dialer load-threshold 100
dialer-group 1
isdn spid1 408555432101 5554321
isdn spid2 408555987601 5559876
ppp authentication chap
!
router igrp 1
network 172.16.0.0
!
ip route 192.168.24.0 255.255.255.0 172.16.20.2
access-list 100 deny ip 0.0.0.0 255.255.255.255 255.255.255.255 0.0.0.0
access-list 100 permit ip 0.0.0.0 255.255.255.255 0.0.0.0 255.255.255.255
!
!
dialer-list 1 list 100
!
line con 0
line aux 0
line vty 0 4
password test
login
!
end
```

[関連情報](#)

- [アクセステクノロジーに関するサポート ページ](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)